

III <資料>

1 . 平成元年度稼働・利用状況

(時間単位：分)

A C O S 4 3 0 / 7 0								画像処理装置								
月	稼働日数	稼働時間	JOB件数	JOB時間	出力枚数	保守時間	故障時間	利用件数	出力枚数	処理時間						
4	30	12726	674	23228	6296	570	120	0	0	0						
5	22	10082	442	11277	3476	360	180	0	0	0						
6	26	12214	1632	27241	4395	120	120	9	31	4470						
7	25	11760	529	28501	2803	450	60	2	4	750						
8	18	8420	364	20765	2416	300	120	0	0	0						
9	25	11560	1167	24796	4020	360	40	3	5	1230						
10	25	11444	935	24076	3397	660	60	0	0	0						
11	23	11009	1056	30151	2359	330	60	0	0	0						
12	22	10738	1092	27823	5804	420	0	0	0	0						
1	20	9700	2872	31004	6887	300	0	0	0	0						
2	23	11163	605	32383	2741	450	0	0	0	0						
3	24	13124	547	37611	5590	360	60	6	23	2640						
計	283	133940	11915	318856	50184	4680	820	20	63	9090						
端 末		スタンドアロン・オンライン				学外共同利用大型計算機センター利用				E W S						
月	接続件数	処理時間	授業時間	自習人数	自習時間	京大	阪大	大学	情報	分子	研	合	計	時間	件数	時間
4	403	10780	2340	21	1980	22	7	0	0	0	29	334				
5	456	10422	3870	68	6120	17	0	0	2	19	241					
6	1019	46526	3150	588	70020	36	7	0	0	43	721					
7	307	6141	90	180	25830	7	0	4	3	14	121					
8	143	3280	0	6	870	4	0	0	0	4	53					
9	1059	37290	1710	23	2520	5	0	5	0	10	43					
10	1824	72161	4320	75	6840	2	0	0	0	2	49	21	7500			
11	1998	71855	3510	103	11070	7	0	0	0	7	118	20	7680			
12	2098	81601	3150	227	23940	13	0	0	0	13	150	24	9990			
1	2929	126527	720	944	111870	4	0	0	2	6	131	26	8610			
2	294	8539	0	52	4590	29	0	0	2	31	534	20	10080			
3	341	6046	0	0	0	24	0	1	1	26	619	26	11310			
計	12871	481168	22860	2287	265650	170	14	10	10	204	3114	137	55170			

2. センター利用登録者・課題名一覧

氏名	所属・職	研究課題	クラス名
横田 浩	教養部講師	有限温度における非可換ゲージ理論の研究	R
今泉 重夫	社会学部教授	バイオ・コンピューターの基礎研究	R
碓井 照子	文学部助教授	奈良県における地名データベースの作成	S
米谷 淳	社会学部講師	コンピュータリテラシーに関する心理学的研究	S
渡 敏	教養部助教授	化学反応の経路に関する理論的研究	S
田野村 忠温	文学部助教授	計算機による自然言語処理	R
泉 輝孝	社会学部教授	奈良県における人材開発	R
碓井 照子	文学部助教授	地理情報システムの研究	R
長谷川 計二	社会学部講師	潜在構造分析のプログラム開発	R
長谷川 計二	社会学部講師	社会調査の解析	R
吉越 昭久	文学部助教授	横浜市域の気候要素の時間・経年変化に関する研究	S

3. センターニュース (抜粋) (No3～6)

1. 実行型FORTRANをインストール (No3)

学生の実習、自習用に実行型FORTRANをインストールしましたので、利用して下さい。仕事の内容にもよりますが、従来のFORTRANに比べてCPU時間、経過時間ともに半分に短縮されました。短いプログラムを多数実行するのに有効です。

〈参考〉利用するためのJCL

```
¥JOB プログラム名；  
¥F77CG； ←注意  
¥INPUT PROG；  
    プログラム  
¥ENDINPUT；  
¥INPUT DATA；  
    データ  
¥ENDINPUT；  
¥ENDJOB；
```

2. 「情報処理センター利用の手引」の発行 (No4)

昨年12月に配付いたしました通り、「情報処理センター利用の手引」を発行いたしました。内容にもまだ不十分な箇所もあり、ご意見や誤りを指摘していただければ幸いです。

手引き書を参考にして、センターをおおいにご利用いただきます様にお願いします。

なお、残部も少しありますので、必要な方は、センター管理事務室までお申し出下さい。

3. エンジニアリングワークステーション (EWS) 稼働について (No4)

文部省の特別研究助成による補助を受けて購入した、EWS (HP9000モデル360) が、昨年10月より稼働を開始しました。主に科学技術計算 (演算速度は、8MIPSでACOS430/70より約5倍速い)、機器の制御、自動計測等に利用できます。

OSは、UNIX (4.3BDS仕様) で、C言語とBASICが使えます。いずれもX-Windowの下で実行できます。附属品として、19インチカラーCRT、磁気テープ、磁気ディスク、HP-IB I/F、が接続されています。詳細につきましては、センター管理事務室にお申し出下さい。

4. ホストコンピューターの運転時間延長 (No5)

ホストコンピューターの平均負荷率が上昇しており、ピーク時には95パーセントにもなっております。このため投入されたジョブが、その日のうちに処理できない事態が生じております。この事態を解消するため、ホストコンピューターの運転時間を当分の間、延長することにしました。

運転時間は、下記の通りです。ただし、保守の都合により7月から9月までは従来通りです。

月一金	8:15~19:00	←8:30~17:30
土	8:15~12:30	←8:15~12:30
注1)	祝祭日の前日は、8:15~17:00です。	
2)	センターの窓口業務は、従来通りです。	

5. プログラム相談室の利用案内 (No5)

昨年度に引続き、利用者の便を図るため、プログラム相談室を開設しています。毎週月曜日から金曜日までの、10時から12時までは2階の研究室で、13時から15時までは、1階のプログラム相談室で開設しておりますからご利用下さい。なお、実習、実技をともなう事項については午後の部を利用して下さい。相談に必要な資料（エラーメッセージ、ソースプログラム、流れ図など）をご持参頂ければ早く解決できます。担当者は下表の通りです。

月曜	市ノ瀬 先生	水曜	湊 先生	金曜	今泉 先生
火曜	横田 先生	木曜	市ノ瀬 先生		

6. 「初心者のためのワープロ講座」盛況裡に終わる (No5)

センターでは、来春卒業される学生を対象に、センターのワープロソフトを利用して「初心者のためのワープロ講座」を4月16日（月）から4月20日（金）まで5日間の予定で開講したところ、受講申込者が、80人と定員（60人）を上回った為、急遽、1コース増やし、4月23日（月）から4月27日（金）まで開講しました。受講者のほとんどが、初体験でした。開講時間は、16時30分から17時30分まででしたが、遅刻する人もほとんどなく連日熱心に受講し、最終日には全員が課題を終えました。

就職部をはじめ、ご協力頂いた関係各位に感謝の意を表します。

7. 電算機システム（ACOS430/70）のハードウェアの増強について（No6）

ホストコンピュータが、性能の限界に近付いて来たため、本紙第5号でお知らせした通り、夏期休暇中に、次の通りシステムの増強工事に着手し無事完了しました。

1. BRANCH 4670 II（LAN）インターフェースの増設。
2. 高速科学演算プロセッサの設置。
3. ワークステーション（N5200/05mk II）の導入。

完了後、センターで性能試験（ベンチ・マークテスト等）をしましたところプログラムにもよりますが、実数演算で増強前に比べて2倍から3倍、演算速度が速くなりました。

なお、センター2階の研究開発室にも、LAN回線を引き、DSEで端末機が利用できるようになりました。

8. 統計解析ソフト（SPSS-X）をインストール（No6）

統計解析ソフト SPSS-X のインストール作業を5月31日（木）に行いその後、動作試験等を行い利用できる状態になりました。利用方法については、市販解説書が多く出ております。ACOS-4でのマニュアルも入手しましたので、センターまでお申し出下さい。

9. クラス別制限値の変更について（No6）

前述のように、利用率が上がり、ジョブも長大化してきましたし、システムのハードウェアの増強、SPSS-Xのインストールなどのため、従来の制限値では、種々の問題が出てきました。そのため、9月17日（月）から、次の通り制限値を緩和します。

◎登録クラス別制限値一覧表

登録クラス 資源	Lグループ		Sグループ*			Rグループ				
パーマネント・ファイル	0.5MB		10MB			3MB				
テンポラリ・ファイル	100MB		100MB			100MB				
J O B クラス	L		R	S	T	R	S	T	U	V**
C P U 時間（分）	1		15	15	30	15	15	30	60	無制限
ページプリンタ出力(行)	~1000		4950	~10000	~4950	4950	~10000	4950	4950	無制限
磁気テープ装置の利用	不可		可（センター所長の許可が必要）							

* SA-SZ内の20グループを作成

** Vクラスは申請が必要

10. 無手順端末機の利用について (No6)

各学科共同研究室に設置しているパソコン端末とセンターのホスト機との接続については、回線テストと動作テストを行ない使用できる状態になっています。利用に際しては、1200ボーのモデムとそれを動作せるソフトウェアが必要です。参考までに、内線番号と使用ソフトをまとめておきます。

内線番号	利用区分	ドライバーソフトウェア
3901 3902 3903	(無手順) DSE	PC9800用 分散エディターDSE98 販売元 ソフトウェア設計 価格 ￥15,000
3904	ETOS	PC9800用 ETOS52Gエミュレーター 販売元 日本電気 配付済み

TSS端末機の設定条件は、下記の通りです。

- ・全二重通信方式
- ・偶数パリティ
- ・データ長 7ビット
- ・ストップビット 1
- ・Xパラメーター 有

なお、センターでは、小冊子「無手順DSE98の使い方」を発行しております。配付をご希望の方は、センター管理事務室までお申し出下さい。

11. 学術情報センターの利用について (No6)

当センターから、学術情報センターのデータベースを利用できることは、本紙第3号でお知らせしましたが、その後、学術情報センターのデータベースが、漢字でも検索できるようになりました。当センターの端末機もこれに対応できるように環境設定を修正しましたので、ご利用下さい。

センターでは、「大型計算機センター (N1ネット) ・学術情報センター (学情ネット) を利用しませんか!」という小冊子を発行しております。希望の方は、センター管理事務室までお申し出下さい。